

# 平成23年度 事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)



学校法人 順天堂

# 順天堂大学 4キャンパス6附属病院群



<http://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章 B 法人章

「意匠登録」：1996 (平成8)年

- A 法人章：佐藤の“サ”又はB 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957 (昭和32)年制定>
- B 法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

 順天堂

# 2013年 順天堂創立175周年記念

開塾：1838年（天保9年）

## 順天堂の由来

順天堂は、天保9(1838)年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀(現在の東日本橋2-6-8)に設立したオランダ医学塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総佐倉(現在の千葉県佐倉市)に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」といまに語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」・文部省「大学大博士」を拝命し、大学東校(東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。

第三代堂主・佐藤進は、明治2(1869)年、明治政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、明治8(1875)年、順天堂医院長・第三代堂主となり、在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監も兼務し国難に対峙し、そして明治18(1885)年、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長をも兼任するなど、日本におけるドイツ流医学教育普及のリーダーとなりました。

その後、第四代堂主・佐藤達次郎は、順天堂医学専門学校を開設し、第五代堂主・有山登は、順天堂医科大学・医学部へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を併設し、更に昭和34(1959)年、大学院医学研究科を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科(現在の大学院スポーツ健康科学研究科)を開設するなど、順天堂大学へと発展させました。

看護師養成の歴史も古く、116年余を経ております。明治29(1896)年、看護婦講習所を開設し、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)、そして平成16(2004)年、第3の学部として医療看護学部(千葉県浦安市)を改組・開設しました。平成19(2007)年、大学院医療看護学研究科を開設し、また平成22(2010)年、第4の学部として保健看護学部(静岡県三島市)を開設しました。

順天堂は、総病床数3,199床という日本最大規模の大学附属病院群を配置して強固なネットワークを形成し、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、ガン治療など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と、総合力に秀でた医育機関として人材育成に努めています。

以上のように、順天堂は4学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療を通じて社会貢献を進めています。

2011年5月15日(創立記念日)

学校法人 順天堂

理事長 小川秀興

## 1. 法人の設置する学校

### 【順天堂大学】

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科 博士課程	東京都文京区本郷2丁目1番1号	昭和34. 3. 大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 昭和46. 3. 大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4. 大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地 平成11. 12. 大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科 修士課程	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成18. 11. 大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19. 4. 同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18. 12. （財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5. （財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2. （学）順天堂医科大学認可。 昭和26. 6. 順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27. 2. 新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4. 順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6. 体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育学専攻）開設。 昭和46. 1. 体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成 4. 12. スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4. 体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29. 10. 順天堂医院看護婦講習所開設。 昭和29. 4. 順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3. 同高等看護婦学校開設。 昭和39. 4. 順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51. 11. 順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4. 順天堂医療短期大学開設。 平成15. 11. 医療看護学部設置認可。 平成16. 4. 順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6. 同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6. 保健看護学部設置届出。 平成21. 9. 学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21. 10. 保健師看護師学校指定。 平成22. 4. 保健看護学部開設。

## 2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,020 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	552 床	静岡県伊豆の国市長岡 1129 番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	653 床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山 560 番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	348 床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
順天堂練馬病院	平成 17. 7. 1	400 床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,199 床	

※病床数は平成24年3月31日現在の稼働数

### 3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長・所長	文部科学省私立大学研究設備等整備に係る事業	開設年月日 (初代センター長)	所在地
研究基盤センター	新井 一	—	平成 15. 10. 1 (木南 英紀)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 12. 3. 21 (水野 美邦)	〃
疾患モデル研究センター	新井 一	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 14. 9. 19 (小川 秀興)	千葉県浦安市富岡 2丁目1番1号
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 19. 4. 24 (小川 秀興)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
感染制御科学研究センター	平松 啓一	戦略的研究基盤形成 支援事業	平成 15. 4. 1 (平松 啓一)	〃
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 17. 10. 1 (小川 秀興)	千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地
臨床研究センター	富野康日己	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	〃

### 4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

【順天堂大学】

(単位：名)

研究科・学部・学科名称	修業 年限	入学 定員	入学 者※1	収容 定員	在籍者※2・3								
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
大学院	医学研究科	4年	100	119	360	455	118 (100)	118 (100)	116 (80)	103 (80)	-	-	
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	57	122	130	55 (61)	75 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	7	24	23	7 (10)	10 (10)	6 (4)	-	-	-
	医療看護学研究科	2年	15	14	30	30	14 (15)	16 (15)	-	-	-	-	
大学院 計		186	197	536	638	194 (186)	219 (186)	122 (84)	103 (80)	-	-		
学部	医学部 医学科 ※4	6年	120	123	619	624	123 (120)	107 (119)	116 (110)	87 (90)	98 (90)	93 (90)	
	スポーツ健康科学部		330	330	1,320	1,323	328 (330)	331 (330)	327 (330)	337 (330)	-	-	
	スポーツ科学科	4年	190	190	760	761	190 (190)	192 (190)	188 (190)	191 (190)	-	-	
	スポーツマネジメント学科	4年	70	70	280	274	68 (70)	68 (70)	68 (70)	70 (70)	-	-	
	健康学科	4年	70	70	280	288	70 (70)	71 (70)	71 (70)	76 (70)	-	-	
	医療看護学部 看護学科	4年	200	201	800	808	202 (200)	196 (200)	214 (200)	196 (200)	-	-	
	保健看護学部 看護学科	4年	120	122	240	246	123 (120)	123 (120)	-	-	-	-	
学部 計		770	776	2,979	3,001	776 (770)	757 (769)	657 (640)	620 (620)	98 (90)	93 (90)		

※1. 入学者欄は平成23年4月に入学した学生数

※2. 在籍者欄は平成24年3月31日における学生数

※3. 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※4. 医学部入学定員 平成24年度より121名に増員認可

## 5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	木南 英紀	順天堂大学学長
	新井 一	医学部長、大学院医学研究科長
	野川 春夫	スポーツ健康科学部長
	岡田 隆夫	医療看護学部長
	高崎 芳成	医学部附属順天堂医院長
	三橋 直樹	静岡病院長
	高森 建二	浦安病院長
	梁井 皎	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	稲富 恵子	保健看護学部長
	前田 稔	医学部附属静岡病院名誉院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	多田 宏	非常勤
佐藤 信紘	順天堂大学特任教授、名誉教授	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

## 6. 評議員

<選任条項順に記載>

児島 邦明	高崎 芳成	代田 浩之	稲田 英一	形本 静夫
金子 今朝秋	野村 志保子	青木 きよ子	細谷 芳三	照沼 則子
高森 建二	富野 康日己	森近 浩	中澤 真逸	林 淑子
佐藤 潔	伊藤 政男	小川 秀興	木南 英紀	新井 一
野川 春夫	岡田 隆夫	梁井 皎	多田 宏	佐藤 信紘
稲富 恵子	前田 稔	宮野 武	新井 平伊	石館 敬三
三橋 直樹	津田 裕士	津村 秀憲	奥村 康	河盛 隆造
澤木 啓祐				(計 36名)

## 7. 研究科・学部一覧

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	博士 (医学)	新井 一
	スポーツ健康科学研究科	修士 (スポーツ健康科学) 博士 ( " )	形本 静夫
	医療看護学研究科	修士 (看護学)	青木 きよ子
学部	医学部 医学科	学士 (医学)	新井 一
	スポーツ健康科学部	学士 (学位名は下記のとおり)	野川 春夫
	スポーツ科学科	学士 (スポーツ科学)	中島 宣行
	スポーツマネジメント学科	学士 (スポーツマネジメント学)	北村 薫
	健康学科	学士 (健康学)	島内 憲夫
	医療看護学部 看護学科	学士 (看護学)	岡田 隆夫
	保健看護学部 看護学科	学士 (看護学)	稲富 恵子

## 8. 教職員数

### (1) 教員数

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	63	13	35	2	53	2	168	102	270
(内訳) 医学研究科	45	8	34	1	53	2	143	65	208
	スポーツ健康科学研究科	18	5	0	0	0	23	11	34
	医療看護学研究科	0	0	1	1	0	2	26	28
学 部	95	116	258	32	356	322	1,179	2,455	3,634
(内訳) 医 学 部	71	87	238	16	323	315	1,050	2,247	3,297
	スポーツ健康科学部	4	20	5	1	7	44	127	171
	医療看護学部	11	6	12	11	19	59	51	110
	保健看護学部	9	3	3	4	7	26	30	56
合 計	158	129	293	34	409	324	1,347	2,557	3,904

### ※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	63	42	0	46	151
学部本務教員内 大学院併任教員	60	314	5	3	382

	教員数
大学院	652
学 部	3,785

### (2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
475	6	3,776	43	223	4,523

教職員合計
8,428

< 参考：平成 22・23 年度臨床研修医受入数 (括弧内は平成 23 年度数) >

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	順天堂練馬病院	計
119 (55)	31 (14)	66 (32)	44 (23)	260 (124)

## 9. 公的研究費補助金

### (1) 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
新 学 術 領 域 研 究	10	36,000	
特 定 領 域 研 究 ( 公 募 研 究 )	1	1,800	
基 盤 研 究 ( A )	3	28,900	
基 盤 研 究 ( B )	17	71,200	
基 盤 研 究 ( C ) ( 一 般 )	139	156,800	
挑 戦 的 萌 芽 研 究	15	21,200	
若 手 研 究 ( A )	2	14,900	
若 手 研 究 ( B )	85	111,900	
特 別 研 究 員 奨 励 費	5	4,100	
研 究 活 動 ス タ ー ト 支 援	3	3,610	
平 成 2 3 年 度 直 接 経 費 計	280	450,410	
平 成 2 3 年 度 間 接 経 費 計	※273	133,353	※件数は内数
合 計	280	583,763	

### (2) 文部科学省：大学改革推進等補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
がんプロフェッショナル養成プラン	1	84,857	
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム	1	17,950	
大 学 教 育 ・ 学 生 支 援 推 進 事 業	1	8,733	
合 計	3	111,540	

### (3) 文部科学省：最先端研究開発戦略的強化費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム	1	8,706	

### (4) 文部科学省：戦略的国際科学技術協力推進事業

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
日本(JST)ースイス (ETHZ) 研究交流	1	1,325	



(5) 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
女性研究者研究活動支援事業	1	17,079	

(6) (独) 日本学術振興会：先端研究助成基金助成金（最先端・次世代研究開発支援プログラム）

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
アレルギー疾患関連分子の発現制御機構とアレルギー治療・予防への応用	1	※156,000	※決定額は平成22年度より4年間合計額
糖尿病性潰瘍に対するハイブリッド型生体外増幅血管内皮前駆細胞による新しい血管再生治療の開発	1	※151,838	

## 10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	責任者等
プロバイオティクス研究（ヤクルト）講座	(株)ヤクルト本社	特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教 授 綿田 裕孝
漢方医学先端臨床センター	(株)ツムラ	医学研究科 病院管理学 教 授 小林 弘幸
加齢制御医学講座	ロート製薬(株) (株)アンチエイジングサイエンス	医学研究科 免疫学 教授事務取扱者 新井 一
イーライリリー「膝再生医学講座」	日本イーライリリー(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教 授 綿田 裕孝
認知症診断・予防・治療学講座	ヤンセンファーマ(株)、エーザイ(株) 他1社（非公開）	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
小児医療・調査研究講座（東京都）	東京都	医学研究科 小児思春期発達・病態学 教 授 清水 俊明
神経変性疾患病態治療探索講座	大日本住友製薬(株)	医学研究科 神経学 教 授 服部 信孝
分子糖尿病制御医学講座	MSD(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教 授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座（越谷市）	埼玉県越谷市	医学研究科長 新井 一

※責任者等の職制は、平成24年3月31日の現職を記載

### 11. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	入学試験検定料	
大学院	医学研究科	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000	
	スポーツ健康科学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000	
	医療看護学研究科	200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000	
学部	医学部	1年次	2,000,000	1,000,000	400,000	-	200,000	3,600,000	※2参照
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	600,000	3,460,000	-
	スポーツ健康科学部	150,000	800,000	390,000	-	200,000	1,540,000	※2参照	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000 ※3	-	1,850,000	※2参照	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000	-	1,850,000	※2参照	

※1 入学時のみ

※2 試験形態毎の入学検定料

医学部

①一般、②地域枠、③センター・一般独自併用：各60,000円 センター利用：40,000円

スポーツ健康科学部

①A0、②推薦、③一般(1学科)：各35,000円 一般(2学科併願)：50,000円

一般(3学科併願)

：65,000円

センター＋一般同時出願：(1学科)55,000円、(2学科)65,000円、(3学科)75,000円

センター利用：(A方式)20,000円、(B及びC方式)各30,000円

医療看護学部

①推薦30,000円、②一般35,000円、③センター利用25,000円、④センター・独自併用55,000円、

併願：(②+③)55,000円、(③+④)60,000円、(②+④)80,000円

保健看護学部

①推薦、②一般、③センター利用、④センター・独自併用：各30,000円

併願：(②+③)50,000円、(②+③+④)70,000円

※3 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算する。

### 12. 平成23年度 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

(単位：名、%)

区分	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	80	80	80	80	
〃 入学者数	81	93	109	110	
博士(医学)甲 学位記授与数	71	83	100	103	平成23年度 累計 《1,317》
(上記内、標準修業年限から超過した学位取得者数)	(0)	(1)	(2)	(2)	
博士号の標準修業年限内での学位授与率	100.0	98.8	98.0	98.1	
満期退学後学位取得者数	0	1	0	1	
博士(医学)乙 学位記授与数	42	19	38	38	《2,202》

**大学院スポーツ健康科学研究科**

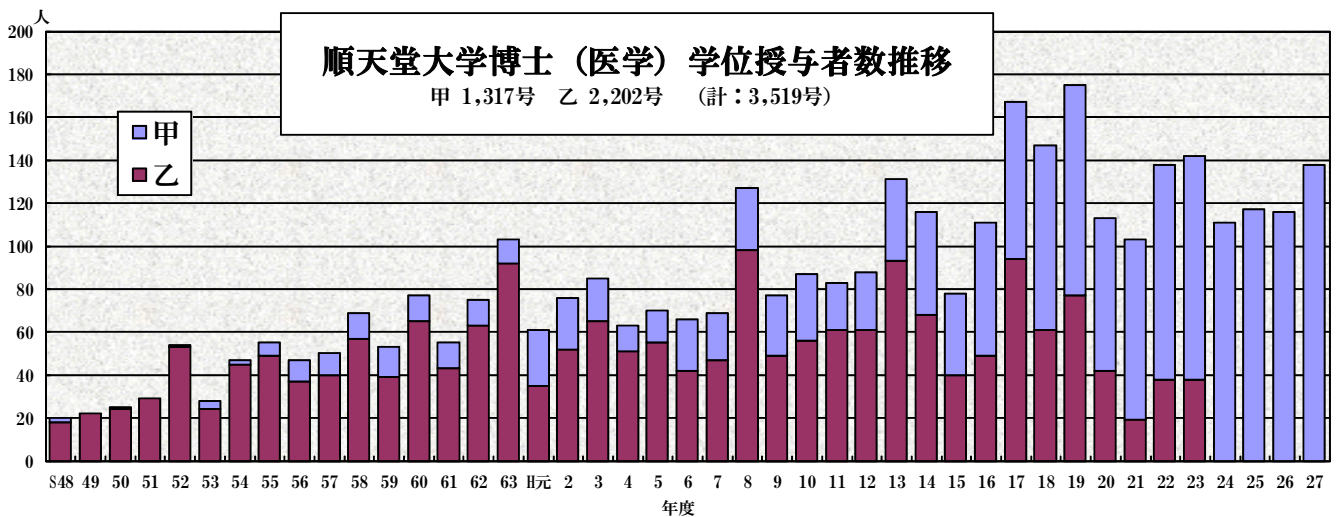
(単位:名、%)

区 分	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	4	4	4	4	
” 入学者数 ( ” )	7	3	7	6	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数 (上記内、標準年限から超過した学位取得者数)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	《18》
博士号の標準修業年限内での学位授与率	100.0	-	100.0	100.0	
満期退学後学位取得者数	0	1	2	0	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	1	0	1	0	《3》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
” 入学者数 ( ” )	58	59	63	66	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	50	43	61	53	《715》
修士号の標準修業年限内での学位授与率	94.0	90.7	88.5	100.0	

**大学院医療看護学研究科**

(単位:名、%)

区 分	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	10	10	10	15	
” 入学者数	18	16	15	17	
修士 (看護学) 学位記授与数	16	18	15	16	《65》
修士号の標準修業年限内での学位授与率	100.0	88.9	100.0	100.0	



- ◎ **平成20~23年度学位取得者** 甲論文(英文85.0%) 平均IF ≒ 3.119  
乙論文(英文74.5%) 平均IF ≒ 2.743 (H24.3.31時点)
- ◎ **トムソン・ロイター (2006-2010年) 論文引用度指数** 国公立大学の内 第8位
- ◎ **Scopus (2007-2011年) 1論文当たり被引用数** ” 第5位

### 13. 平成 23 年度 学部卒業生数

(単位：名)

学部・学科名称	取得学位 (学士)	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	備考《累計》
医学部医学科	医学	93 (39)	92 (29)	98 (29)	89 (28)	医専卒 《319》 医科大卒 《89》 学部卒 《4,354》 累計《4,762》
スポーツ健康科学部		323 (122)	327 (111)	321 (112)	330 (111)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《4,992》 累計 《10,199》
スポーツ科学科	スポーツ科学	179 (55)	187 (55)	184 (55)	187 (54)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	72 (34)	68 (26)	68 (28)	69 (27)	
健康学科	健康学	72 (33)	72 (30)	69 (29)	74 (30)	
医療看護学部 看護学科	看護学	103 (100)	204 (194)	192 (179)	196 (188)	講習所 《1,182》 看護学院 《29》 准看護婦学院 《132》 高等看護学校 《775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《793》 累計 《5,581》

※( )内は女子学生数

### 14. 卒業後の進路状況

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業生数	
大学院	医学研究科	大学・研究機関	86名	104名	
		医療機関	9名		
		民間企業	7名		
		その他	2名		
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	4名	5名
			その他	1名	
		博士前期課程	教員・研究機関	19名	53名
			民間企業	23名	
			進学	3名	
			その他	8名	
医療看護学研究科	大学院等医療機関	11名	16名		
	教員・研究機関	5名			
学部	医学部	初期臨床研修医 (本学医学部附属病院群)	60名	89名	
		〃 (他大学医学部附属病院群)	4名		
		〃 (大学院以外の臨床研修指定病院群)	22名		
		初期臨床研修未開始者 (国家試験不合格等)	3名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	96名	330名	
		民間企業	154名		
		進学	64名		
		その他	16名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院群	178名	196名	
		本学以外の医療機関	12名		
進学		2名			
その他		4名			

※単位修得満期退学者を含む

## 15. 公開講座

左欄：開催年月日

右欄：講座名・テーマ

### [法人・大学]

23. 5. 21	第 325 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
6. 18	第 28 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「スポーツと健康」
9. 9	第 326 回順天堂医学会学術集会「緩和ケアの現状」
24. 2. 18	第 29 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「放射線と医学」

### [大学院医学研究科]

23. 11. 5	第 6 回順天堂大学大学院がん生涯教育センター国際シンポジウム 2011 「肺がんの集学的治療の最前線－肺がんの撲滅を目指して－」
24. 3. 17	がん患者と医療のパートナーシップを考えるワークショップ 第 3 回患者と医療の架け橋「患者団体とともに」
25	第 7 回順天堂大学大学院がん生涯教育センター国際シンポジウム 「MU 計算について学ぶ」

### [順天堂医院]

23. 5. 28	第1回緩和ケア研修会「本郷地区がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」 (～29日)
6. 4	第7回順天堂大学医学部附属順天堂医院がん治療センター・ 順天堂大学大学院がん生涯教育センター市民公開講座 「前立腺肥大症と前立腺がんはどう違うの?」、 「前立腺がんになったらどうするの?」、「放射線、放射能と体」
18	JMN臨床研究会「子宮頸がん予防ワクチンについて」、「小児の予防接種について」、 「高齢者の重症化を防ぐ予防接種－肺炎球菌ワクチンについて」、 「ウイルス感染症に合併する細菌感染症について」
30	第5回がん研修会(早期診断・緩和ケア)「肝臓がんの早期診断」、「口腔ケアについて」
10. 1	JMN臨床研究会「運動器疾患:腰下肢痛の緩和法」、「腰痛・関節痛をめぐる注意点」、 「関節炎の鑑別診断とその治療」
〃	第2回緩和ケア研修会「本郷地区がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」 (～2日)
11. 24	第6回がん研修会(早期診断・緩和ケア) 「がん治療における支持療法」、「がん患者さんと社会資源」
24. 1. 21	第8回順天堂大学医学部附属順天堂医院がん治療センター・ 順天堂大学大学院がん生涯教育センター市民公開講座 「乳がん治療の最新情報」、「化学療法の効果と副作用」
2. 18	JMN臨床研究会「主要マーカー検査－最近の進歩と動向」、 「金の斧と銅の斧－泌尿器癌を考える」、「胃がんの化学療法～診断から治療まで」、 「乳がん診療のAtoZ」

**[静岡病院]**

23. 5. 19	市民公開講座「よくわかる乳がんの診断と治療」
6. 9	第 17 回東部周産期研究会「産科手術における麻酔法」、 「2010 年における新生児救急車搬送の現状」
7. 23	静岡メディカルフォーラム 2011「脳科学の最前線」、「元気脳になる落語」
9. 17	市民公開講座「もしかしたら認知症？～正しい知識と対応～」
10. 20	第 18 回東部周産期研究会「母体搬送の現状と問題点」、「NICU の現状」
11. 2	市民公開講座「やさしい心臓病の話」
24. 1. 19	市民公開講座「赤ちゃんに必要な予防接種～ワクチンで髄膜炎を予防しよう～」
20	平成 23 年度静岡県東部地区救命救急医学研修会
2. 23	第 19 回東部周産期研究会「胎児発育不全(FGR)の管理法」、 「オクトレオチドが有効であった乳び胸の早産児例」
3. 1	市民公開講座「日光の功罪～若々しい皮膚を保つために～」

**[浦安病院]**

23. 4. 23	第 42 回市民公開講座「かゆい皮膚病の話」
5. 21	第 43 回市民公開講座「知ってほしい薬の基礎知識～薬との上手なつきあい方～」
6. 15	第 27 回医療連携フォーラム「認知症」
7. 13	第 28 回医療連携フォーラム「スポーツ整形外科治療のトピックス」
9. 24	第 44 回市民公開講座「消化器がんの治療について」
10. 26	第 29 回医療連携フォーラム「脳卒中」、「小児外科」、「ED」
29	東葛南部地域難病相談・支援センター公開講座「パーキンソン病の最新医療について」
11. 5	第 45 回市民公開講座「成人病と眼」
12. 3	第 46 回市民公開講座「もっと知りたい！脳卒中のこと」
16	浦安市高齢者支援課公開講座「きこえの異常とめまい」
17	第 47 回市民公開講座「狭心症と心筋梗塞ってどんな病気？」、 「高血圧と心房細動～脳梗塞で倒れないために～」
24. 1. 25	第 30 回医療連携フォーラム「痛みについて」
2. 25	第 48 回市民公開講座「糖尿病と再生医療について」

**[順天堂越谷病院]**

23. 4. 16	第 45 回（財）順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催講演会 「老人とうつ ～発症の要因から治療・ケアまで～」
6. 24	第 6 回神経内科主催パーキンソン病教室 「パーキンソン病を知る ～症状と治療のベストな組み合わせのために～」
7. 23	第 46 回（財）順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催講演会 「パニック障害について」
10. 22	第 3 回医療連携講演会開催 「関節痛とリウマチ ～さまざまな関節痛から関節リウマチの最新の治療まで～」

23. 11. 26	第 47 回 (財) 順天堂精神医学研究所・順天堂越谷病院共催 講演会 「セックスレスと性同一性障害」
------------	--

**[順天堂東京江東高齢者医療センター]**

23. 4. 16	第 1 回区民健康講座「アルツハイマー型認知症の新たな治療展開について」
5. 21	第 2 回区民健康講座「関節リウマチの治療について」
6. 25	第 3 回区民健康講座「やさしい骨粗鬆症のお話」
7. 23	第 4 回区民健康講座「夏でもこわい脳卒中」
9. 24	第 5 回区民健康講座「胸焼けが気になる方へ～逆流性食道炎について～」
10. 15	第 6 回区民健康講座「床ずれ予防と手当てのしかた～栄養・姿勢・キズについて～」
11. 19	第 7 回区民健康講座「足の動脈硬化～歩くと足が痛いという症状はありませんか～」
12. 17	第 8 回区民健康講座「高齢者の難聴について」

**[順天堂練馬病院]**

23. 4. 23	区民健康医学講座「放射線被ばくのウソ・ホント」
5. 19	医療連携フォーラム「高血圧治療薬を考える」、「当院における出生前検査の現状」、「摂食・嚥下のメカニズム」
28	区民健康医学講座「関節が痛いつてどんな病気があるの？治療法ってあるの？」
6. 25	区民健康医学講座「手術の際の麻酔について」
7. 21	医療連携フォーラム「乳幼児の発達について—ハイリスク児のフォローアップ—」、「小児尿路感染への新しい治療戦略」
23	区民健康医学講座「病気とのつきあい方」
9. 15	医療連携フォーラム「胃癌化学療法の新展開」
24	区民健康医学講座「結核について」
10. 22	区民健康医学講座「肺がんの外科治療」
11. 17	医療連携フォーラム「インフルエンザ感染症 2010-2011 年を振り返って」、「当院における肩関節疾患の診断と治療」、「腹腔鏡手術の最前線 ①胃がん②単孔式の“ラパコレ” ③大腸がん」
26	区民健康医学講座「集中治療室 (ICU) ってどんなところ？」
12. 17	区民健康医学講座「脳神経外科・健診から受診まで」
24. 1. 19	医療連携フォーラム 「肺血栓塞栓症」、「日常良く見る疾患の画像」、「パーキンソン病 2011 年治療ガイドライン」
28	練馬区教育委員会との共催区民講座「鼻の病気について」
2. 25	練馬区教育委員会との共催区民講座「アレルギーについて」
3. 15	医療連携フォーラム 「COPD について」、「排尿障害治療に関する最近の知見—前立腺肥大症と過活動膀胱—」、「アトピー性皮膚炎の漢方治療—動物実験の検討も含めて—」
24	練馬区教育委員会との共催区民講座「更年期と向き合う」

**[さくらキャンパス]**

23. 6. 1	運動指導講座「スマイルヘルシー教室」(6月から3月まで全16回開催)
8. 22	生涯学習公開講座「コーディネーショントレーニング」
28	生涯学習公開講座「ダンス」
11. 6	生涯学習公開講座「陸上」
13	生涯学習公開講座「サッカー」
14	浦安市公開講座「なわとび教室」
19	第8回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム 「健康と生きがい～地域の中で共にいきいきと幸せに生きる～」

**[浦安キャンパス]**

23. 11. 19	第20回順天堂大学医療看護学部公開講座 「家庭で役立つ応急処置～日頃からの備えで安心を～」
------------	--

**[三島キャンパス]**

24. 3. 18	第2回順天堂大学保健看護学部公開講座 「息することは生きること～良い呼吸で健康づくり～」、「みんなで学ぶ感染予防」
-----------	--



**16. 社会貢献・地域交流・ボランティア活動**

左欄：開催年月日	右欄：活動名
----------	--------

**[順天堂医院]**

23. 4. 9	癒しの会「歌」1号館アトリウム
5. 14	癒しの会「ピアノ・バイオリン」1号館アトリウム
6. 11	癒しの会「ピアノと弾き語り」1号館アトリウム
7. 9	癒しの会「ウクレレ弾き語り」1号館アトリウム
9. 10	癒しの会「順天堂交響楽団」1号館アトリウム
10. 9	癒しの会「チャイルドパーティー」1号館アトリウム
11. 13	癒しの会「順天堂交響楽団」1号館アトリウム

**[順天堂練馬病院]**

23. 8. 13	C-CUBE プロジェクト（近隣の小学生を対象とした病院職場体験プロジェクト）
-----------	---

**[さくらキャンパス]**

23. 4. 16	順天堂大学陸上競技記録会（中学生～一般、4月から翌年3月まで全8回開催）
17	順天堂大学体操教室 （4月から翌年3月までの毎週日曜日開催、（但し夏期休暇期間、年末年始を除く））
5. 10	順天堂大学バレーボール教室 （5月から翌年1月までの毎週火曜日開催、（但し夏期休暇期間、年末年始を除く））
31	順天堂大学公開講座（体育施設管理士養成講習会、～6月3日）
6. 3	第64回啓心寮祭（～5日）
10. 15	瞬足陸上教室（アキレス共催）
24. 2. 21	順天堂大学公開講座（体育施設管理士養成講習会、～23日）

**[浦安キャンパス]**

23. 10. 22	第22回順華祭「絆～心を一つに～」（～23日）
30	高洲北児童育成クラブとの交流活動 （ハロウィン衣装をした子供たちによるキャンパス訪問）

**[三島キャンパス]**

23. 6. 16	静岡県・三島市・順天堂大学リバーフレンドシップ調印 （学生ボランティアによる大場川クリーン活動）
8. 27	フェスタ菰池（学生有志による出店）
10. 29	第2回順咲祭「絆～246色の虹～」（～30日）
24. 3. 11	三島市大宮町3丁目子供会（学生ボランティアによるサポート）

**[国際交流センター]**

23. 11. 5	在京タイ大使館でのタイ洪水に対する義援金寄付（小川理事長及び法人分）
24. 2. 22	大使公邸でのタイ洪水に対する義援金寄付（全法人職員及び熱帯医学研究会分）

17. 国際交流活動

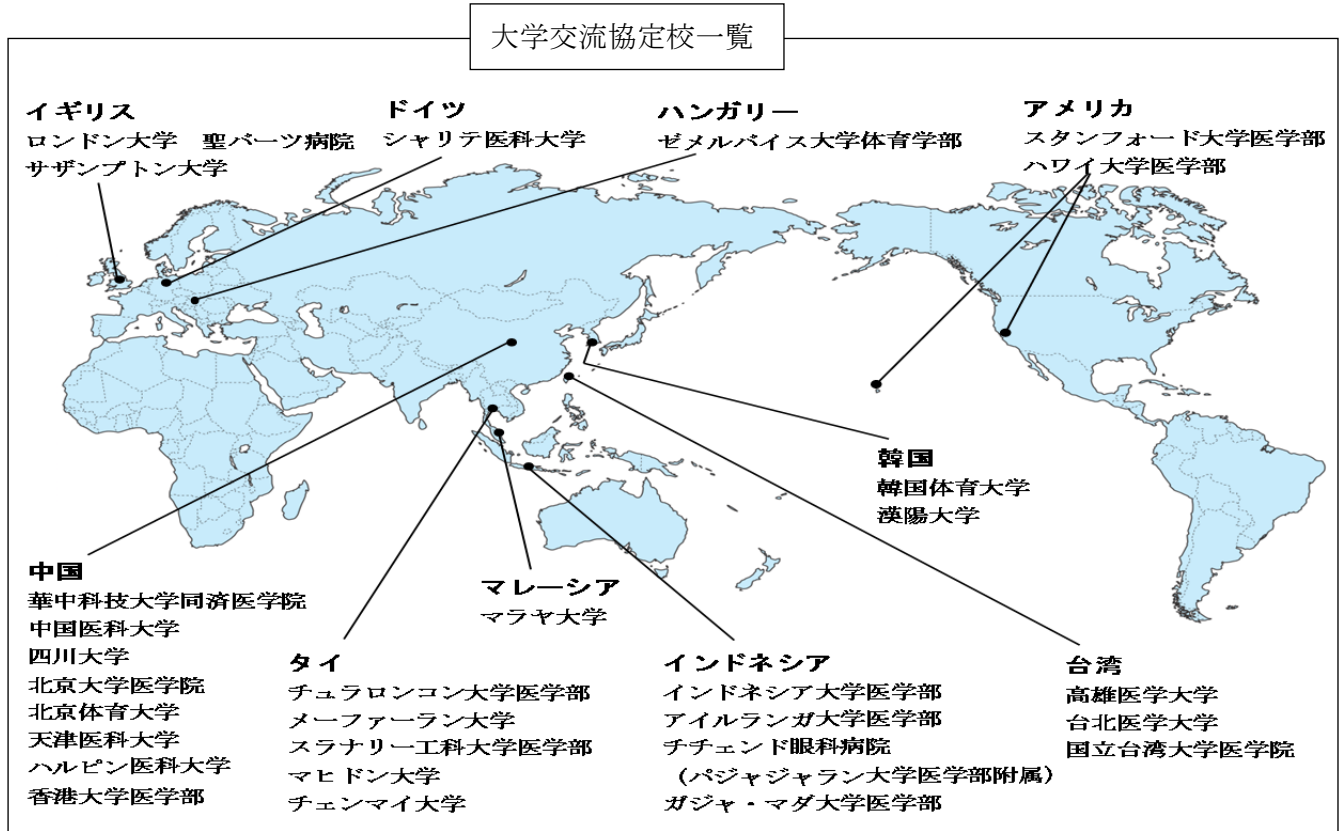
平成 23 年度は教育・研究を通じた様々な国際的な取り組みが行われました。

【 大学交流協定について 】

今年度は新たにチェンマイ大学（タイ）及びサザンプトン大学（イギリス）と大学交流協定を結び、交流協定締結校は世界 10 ヶ国、29 校となりました。



チェンマイ大学との交流協定調印式



【 留学生の研修・交流活動について 】

留学生の受け入れは、20 ヶ国・地域、127 名でした。

留学生同士の交流も積極的に行っております。今年度は新たに東京医科歯科大学（以下「TMDU」）と共同での留学生交流会（平成 24 年 2 月 7 日、於 TMDU）を実施しました。



TMDU との共同留学生交流会

（ 海外留学生等国別受入れ状況 ）

中国	71 人
インドネシア	13 人
韓国	11 人
台湾	7 人
タイ	5 人
イタリア	2 人
イラン	2 人

エストニア	2 人
ネパール	2 人
ベトナム	2 人
インド	1 人
オーストラリア	1 人
グアテマラ	1 人
グルジア	1 人

スペイン	1 人
パラグアイ	1 人
バングラディッシュ	1 人
フランス	1 人
メキシコ	1 人
ラオス	1 人
合計	20 カ国 127 人(※)

※博士研究員、リサーチアシスタント、協力研究員、研究支援者を含む。

## 【 学術交流について 】

### ○ 北京大学との第2回国際学術シンポジウム

平成23年8月、北京大学と第2回国際学術シンポジウムを開催しました。北京大学から柯楊常務副学長以下6名の教授陣を招聘し、「日中における消化管がんの基礎的・臨床的研究並びに治療の実際」をテーマとしてシンポジウムを行いました。



北京大学との第2回国際学術シンポジウム

### ○ シャリテ医科大学との第2回ジョイント・シンポジウム

平成23年9月、日独国交150周年を記念しシャリテ医科大学と第2回ジョイント・シンポジウム「Baron Dr. SATO Susumu 記念フォーラム」を、外務省、文部科学省、厚生労働省の後援を頂き開催いたしました。当日は常陸宮殿下・常陸宮妃殿下のご臨席を賜り、デトレフ・ガンテンシャリテ医科大学前CEO・教授、フォルカー・シュタンツェル駐日ドイツ大使、鈴木寛前文部科学副大臣、外務省・厚生労働省・文部科学省の方々、多数のドイツ系協会・団体・企業の方々にご出席戴きました。



シャリテ医科大学との  
第2回ジョイント・シンポジウム

### ○ 本学・マヒドン大学・国立がん研究センター 協力協定締結

平成23年8月、在タイ日本大使館において順天堂大学・マヒドン大学・国立がん研究センター三者間協力協定の調印式が執り行われました。



本学・マヒドン大学・国立がん研究センターとの協力協定

### ○ 第2回アジア太平洋メディカルフォーラム

平成23年11月、第2回アジア太平洋メディカルフォーラムが開催され、「成人病は胎児期から始まる」をテーマとして行われました。



第2回アジア太平洋メディカルフォーラム

## 【 思いやり交流について 】

平成23年3月に小川理事長がタイに来訪した際、タイ国民の東日本大震災に対する迅速な募金活動や思いやりに感銘を受けました。

平成23年11月のタイ国の大洪水の報に接し、この返礼として本学からの義援金を小川秀興理事長が在日タイ大使館にてフートラクーン駐日大使に渡し、また平成24年2月にも本学教職員及び学生の有志による義援金を届けました。



在日タイ大使館での義援金贈呈式


**18. 当期事業の主な概要及び施設設備の整備状況**
**【法人・大学】**
**本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業**

- ・創立 175 周年記念事業の一環として、新病棟（仮称：B 棟）建設計画を取り纏めました。平成 23 年 10 月 28 日、建設地である旧 5 号館跡地において B 棟建設工事の起工式を執り行い、B 棟 I 期工事に着手しました。
- ・文部科学省「ICT 活用推進事業」に『順天堂大学センチュリータワー ICT 化教育基盤整備事業』が採択されました。ICT 学習環境の整備を行い、医学・医療・スポーツ健康科学の教育・研究の一層の充実と国際化の推進を図り、センチュリータワーを発信起点とした国内外の大学・研究機関・医療機関を結ぶネットワークを確立しました。
- ・3 号館、4 号館及び周辺サテライト施設（仮称：C 棟、D 棟）の建て替え計画、図書館改修計画、新湯島寮建設計画並びに新規取得したサテライト施設の整備方針の検討を進めています。

**学校法人順天堂の格付け「AA」を継続**

平成 23 年 7 月、我が国最大の格付機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）による格付け更新に係る調査が行われ、本法人は「AA（ダブル A フラット）」の格付けを維持しました。本法人の医療機関としての強い競争力が評価され、今後の方向性も「安定的」とされました。本法人は、平成 19 年 8 月に初めて格付けを取得してから継続して「AA」を維持しています。

（以下、平成 23 年（2011 年）7 月 4 日付株式会社格付投資情報センターニュースリリース）

	<h1 style="margin: 0;">NEWS RELEASE</h1>	2011年07月04日						
<p><b>【格付維持】</b></p> <p><b>順天堂</b></p> <p>発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]</p>								
<p>格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付を公表しました。</p> <p><b>【格付理由】</b></p> <p>日本で最古の西洋医学塾を発祥とする学校法人で、医学部をはじめとした4学部のほか、6つの病院を運営している。草創期には順天堂関係者らの人脈で東京大学医学部が誕生し、順天堂が実質的に卒後研修の場になるなど、日本の近代医学の源流とも言うべき存在である。医学教育の歴史や教育実績への評価もあって医学部の位置付けは高く、2008年度からは医学部の学費が全国29の私立医科大学・医学部の中で最も安価に引き下げたこともあって、入学難易度は一段と上がった。2010年度には4番目の学部として静岡県に保健看護学部を設置した。</p> <p>“私立病院の雄”として発展した経緯もあって、伝統的に患者本位の医療を重視している。順天堂の経営基盤を支えているのは医療機関としての強い競争力で、年間1000億円を超える医療収入は、国公立を含めて大学としては最大である。順天堂は帰属収入のおよそ8割を医業収入が占めているが、このような学校法人の信用力を評価するに当たって、R&amp;Iでは医療機関としての評価に重点を置く。医療機関の中で大学病院は、法人内に人材輩出源としての医学部を持っており、一般的な病院と比べて優れた位置付けにある。</p> <p>1990年代前半に悪化した財務構成は、小川秀興理事長が主導した全学的な業務改善組織である学長室プロジェクトの活動によって改善した。2005年度には帰属収支差額が100億円を超え、内部留保資産は2006年度からプラスに転じている。帰属収支差額比率も高く、医科系大学としては極めて良好な収支状況である。2013年に迎える創立175周年に向けて、文京区本郷にある順天堂医院の再編事業に着手している。手元資金で賄う方針を打ち出しており、再び財務構成が悪化する懸念は小さい。</p> <p><b>【格付対象】</b></p> <p>発行者：順天堂</p>								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">名称</th> <th style="width: 33%;">格付</th> <th style="width: 33%;">格付の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">発行体格付</td> <td style="text-align: center;">AA（維持）</td> <td style="text-align: center;">安定的</td> </tr> </tbody> </table>	名称	格付	格付の方向性	発行体格付	AA（維持）	安定的		
名称	格付	格付の方向性						
発行体格付	AA（維持）	安定的						

### 大学間の研究連携・交流

平成 20 年度より早稲田大学と「医療と建築との融合を目指す“次世代環境医療”」に関する共同研究に取り組み、毎年公開シンポジウムを開催しています。平成 23 年度も引き続き早稲田大学と第 3 回「次世代環境医療シンポジウム」を平成 23 年 6 月 2 日に有山記念館講堂で開催しました。東日本大震災の教訓を反映して、“災害に強い病院”に焦点を当て「エコロジーと耐震強度を考えた新世代病院と非常時への備え」をメインテーマに講演とパネルディスカッションを行いました。

### 最先端・次世代研究開発支援プログラム キックオフシンポジウム

政府による「新成長戦略（基本方針）」（平成 21 年 12 月 30 日 閣議決定）において掲げられたグリーン・イノベーション及びライフ・イノベーションの推進を目的とした「最先端・次世代研究開発支援プログラム」に採択されたことを受け、キックオフシンポジウムを平成 23 年 10 月 15 日にセンチュリータワーで開催しました。今回のシンポジウムは「疾患治療に向けた新・開発研究」をテーマに、発表と討論を行い、研究者、学生、企業関係者等約 100 名の参加がありました。

### タイ国大洪水における対応

平成 23 年 11 月 15 日、在日タイ大使館にて、タイ国の大洪水に対する本学からの義援金を小川理事長からフートラクーン駐日大使に贈呈しました。タイ国には本学と国際交流協定を締結している 5 大学（チュラロンコン大学、メーファーラン大学、スラナリー工科大学、マヒドン大学、チェンマイ大学）があり、また本学熱帯医学研究会の医師及び医学部学生とも 50 年以上の交流があります。一刻も早い復旧を祈念するとともに、今後も引き続き支援活動を行っていきます。

### 川崎大師東京別院薬研堀不動院開設 420 年奉祝

川崎大師東京別院薬研堀不動院開設 420 年の奉祝に併せて、順天堂創立 175 周年、順天堂発祥之地碑建立 30 周年記念及び順天堂学祖・佐藤泰然先生 140 周年忌追悼記念法要が平成 23 年 10 月 28 日に薬研堀不動院で執り行われました。本学より佐藤潔特任教授、酒井シヅ特任教授他が参列しました。

### 国立がん研究センターとの連携大学院制度の発足

本学大学院は、国立がん研究センターとの間で医学教育及び医学研究のより一層の連携を図るため、平成 24 年 1 月 6 日に文部科学省記者会見室にて連携協力のための協定書を締結しました。平成 24 年度より、新たに画期的な連携大学院制度を開始することとなりました。

### 使途指定寄付金の募集開始

平成 23 年 12 月 1 日より、大学全体の振興、特定の研究・教育又は特定の学生活動等を支援することを目的とした「使途指定寄付金」の募集を開始しました。本寄付金は寄付者の意向にかなった目的に使用するため使途の範囲を限定できることが特徴となっています。

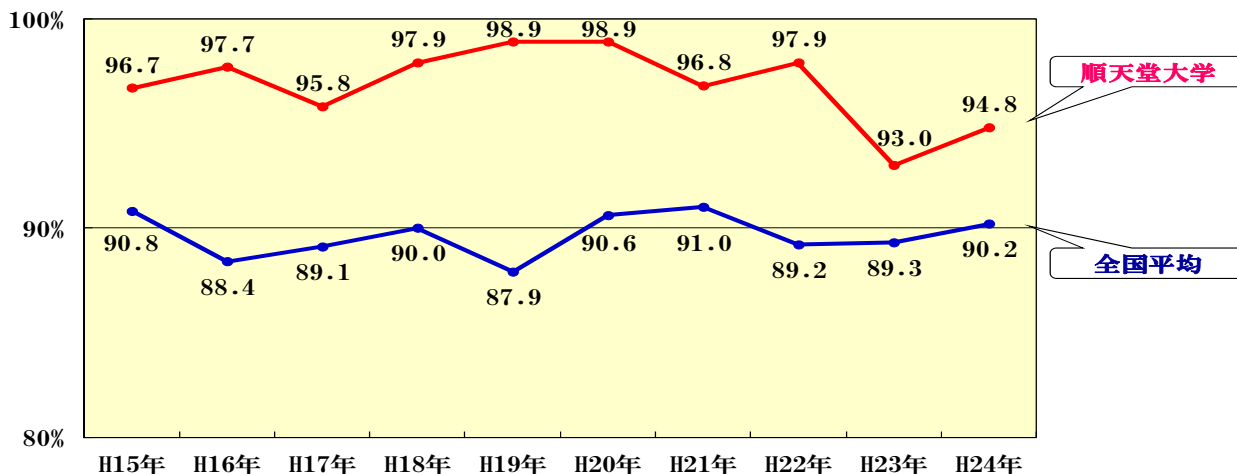
## 【本郷キャンパス（大学院医学研究科・医学部）】

### 医学部の入学定員増への対応

平成 23 年 10 月 26 日付文部科学省高等教育局長通知による「地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について」を受け、本学では、優れた教育研究資源を活かし、学

部・大学院教育を一貫した特別コースの設置等を条件とした入学定員の増員計画（研究医養成枠1名）を申請し、平成23年12月21日に文部科学省から認可されました。これにより、平成24年度の医学部入学定員が120名から121名に増員されました。

**医師国家試験合格率推移**



過去5年間平均 → 第3位/80校(国公立大)  
 過去10年間平均 → 第2位/80校( " )

**教育研究施設・設備の充実、文部科学省採択事業**

- 平成23年度文部科学省「科学研究費補助金」の採択件数・配分額は4年制535私立大学中第8位となりました。今後も医学部をコアとしながら全学部が協力連携して、教育・研究活動を推進し、科学研究費の申請・採択に努めていきます。
- 文部科学省「科学技術人材育成費補助金（女性研究者研究活動支援事業）」に採択されました。女性研究者がその能力を最大限発揮できるよう、出産、子育て又は介護等のライフイベントと研究を両立するための環境整備のため法人本部に男女共同参画推進室が設置され、女性研究者養成支援を行うこととなりました。
- 文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」にアトピー疾患研究センターの『“バリア”に着目したアレルギー疾患の病態解明と治療のための研究拠点の形成』、老人性疾患病態・治療研究センターの『細胞・脳機能研究の融合による神経疾患診断・治療法開発拠点の形成』、スポーツ健康医科学研究所の『子どもの健康づくりのためのスポーツ医科学研究拠点の形成』の3事業が採択されました。
- 次世代プロテオミクス解析装置（医学部・大学院医学研究科）、超高感度等温滴定型カロリーメータシステム（医学部・大学院医学研究科）、共焦点レーザー顕微鏡（スポーツ健康医科学研究所）等、教育・研究装置の拡充を行いました。

**国際交流の拡大・強化**

- イギリスのサザンプトン大学、タイのチェンマイ大学との国際交流協定書に調印しました。これにより本学の協力協定校は合計29校となりました。
- 平成23年11月にチェンマイ大学及び吉林大学中日聯誼医院、平成24年2月に日本医療保健衛生公務研修使節団の表敬訪問を受けました。
- 国際交流協定校との学術的交流として、平成23年8月に熱帯医学研究会研修をタイのチュラロンコン大学、チェンマイ大学及びシンガポールで行いました。
- 平成23年8月に北京大学との消化器がんに関する第2回学術シンポジウム、9月に常陸宮殿下をお迎えして、ドイツのシャリテ医科大学との第2回ジョイント・シンポジウム-Baron Dr

SATO Susumu 記念フォーラム（日独交流 150 周年記念事業）、11 月に第 2 回アジア太平洋メディカルフォーラムの 3 つの国際学術シンポジウムを開催しました。

- ・海外からの短期研修として、基礎系と臨床系合わせて 47 名（昨年度 34 名）の留学生を受け入れました。また本学医学部生の海外選択実習として、6 年生 14 名をアメリカ、イギリス、オーストラリアの 3 カ国に派遣しました。

### 【さくらキャンパス】

- ・文部科学省委託事業「競技者・指導者等のスポーツキャリア形成支援事業」及び「大学スポーツ研究活動資源活用事業」に採択されました。ナショナルレベル競技者の育成実績を有する本学の資源を活用した先駆的な研究活動を推進し、その研究成果を国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターの機能を活かして、学内外のコーチングスタッフや研究者に対して普及・啓発することで国際競技力の向上を図ります
- ・文部科学省委託事業「チーム『ニッポン』マルチサポート事業」を幹事校である筑波大学と共同で推進しています。女性アスリートを対象とした強化・支援の方法やメダルを獲得するための社会的なサポートの枠組みの提案等、アスリートの戦略的強化方策の調査研究を実施しています。
- ・クラブ・スポーツ活動では、陸上競技部（男子駅伝）が、第 88 回東京箱根間往復大学駅伝総合 7 位となり、次回大会の出場権を獲得しました。体操競技部が、第 65 回全日本学生体操競技選手権大会にて 3 年振り 5 回目の男子団体総合優勝、バスケットボール部女子が、創部 20 年目にして悲願の 1 部昇格を果たしました。
- ・就職状況について、教職では、現役学生 37 名、既卒者を含めると 138 名の合格者を輩出しました。また企業就職希望者については、最終的に 99.3%の学生が内定を獲得しました。

### 【浦安キャンパス】

- ・本学大学院医療看護学研究科感染看護分野の専門看護師養成コースが、日本看護系大学協議会において、専門看護師教育課程の認定を受けました。
- ・第 12 回医療看護学部国際交流講演会を平成 24 年 2 月 28 日に浦安病院 3 階講堂にて開催しました。「英国におけるクリニカルリサーチの実際」をテーマに英国デ・モントフォート大学ジュディス・タナー教授の講演がありました。
- ・国家試験結果は看護師 99.0%、保健師 93.5%、助産師 100%と高い合格率となりました。

### 【三島キャンパス】

- ・地域と行政の協働事業の一環として、本学保健看護学部・静岡県・三島市の三者で「リバーフレンドシップ」制度に調印し、三島市内を流れる大場川の美化活動を進めています。
- ・多目的グラウンド（テニス・フットサル・ハンドボール）の整備工事を行いました。

### 【順天堂医院】

- ・大規模災害対策として、平成 23 年 9 月 18 日に地域町内会・本富士警察署、本郷消防署、文京区との総合防災訓練を実施しました。大規模災害を想定したトリアージ訓練、手術室訓練のほか、新潟県山古志村元村長 長島忠美氏の講演や地域住民の方も参加した救出・応急訓練を行いました。平成 24 年 2 月には、附属病院間の災害時の連携を図る目的から、順天堂医院、浦安病院、順天堂練馬病院に広域災害用無線を設置しました。
- ・平成 23 年 7 月、東邦薬品平和島物流センター内に順天堂専用倉庫を確保し、従来院内に在庫していた診療材料の院外化を実施しました。また 11 月には、東日本大震災の教訓を踏ま

え「災害拠点病院」の機能の更なる強化のため、災害対策用の備蓄倉庫を本郷キャンパス近隣に取得しました。

#### 【静岡病院】

- ・厚生労働省「医療施設災害対策緊急整備費補助金」に採択され、非常用発電機9号機設置工事に着手しました。
- ・静岡県「3次医療圏再生推進事業費補助金」に採択され、新生児生体情報モニター及び分娩監視装置を更新しました。
- ・平成22年度に採択された、静岡県「医療施設耐震化臨時特例事業費補助金」の継続事業としてD棟・E棟耐震補強工事を施工しています。
- ・新生児センターの増床改修工事(5床)に着手しました。整備後30床(新生児集中治療室管理料12床、小児入院治療室管理料Ⅱ18床)として、恒常的なベッド不足を補います。

#### 【浦安病院】

- ・平成23年4月1日より「総合診療科」を開設し、内科系初診患者を中心に各専門診療科への振り分けが困難な患者を総合診療科で第一次段階の診察を行うことにより、安全な医療体制を構築しました。
- ・平成23年12月1日より「小児外科」を開設し、周産期母子医療センターの充実を図るとともに救急診療科や外科等の外科系診療科との連携強化を行いました。
- ・平成23年12月5日より、放射線画像情報システム(PACS)を導入し、診療設備の充実を図りました。
- ・東日本大震災の経験をもとに、屋上に備蓄倉庫を増設し、食糧、毛布、飲料水等の備蓄拡充を行いました。

#### 【順天堂越谷病院】

- ・病院敷地内の全面禁煙化を行いました。
- ・ニコチン指導管理料算定認可を受け、禁煙外来を開始しました。
- ・訪問看護を含めたアウトリーチ医療を推進しました。

#### 【順天堂東京江東高齢者医療センター】

- ・病院基幹システムとなる医療情報システムの更新を実施しました。更新により業務の効率化を図るとともに、情報セキュリティを強化することが出来ました。
- ・診療設備充実のため、臨床化学自動分析装置、多項目自動血球分析装置、X線血管撮影装置を更新し、新医療情報システムとの連携を図りました。

#### 【順天堂練馬病院】

- ・平成23年9月30日付にて東京都より「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の中核としての病院機能を強化しました。
- ・厚生労働省より「医療施設等設備整備費補助金(災害拠点病院設備整備事業)」を受け、超音波診断装置設備を導入しました。



## 19. 東日本大震災に対する順天堂医療支援活動について

### 順天堂6附属病院の被災地救援活動

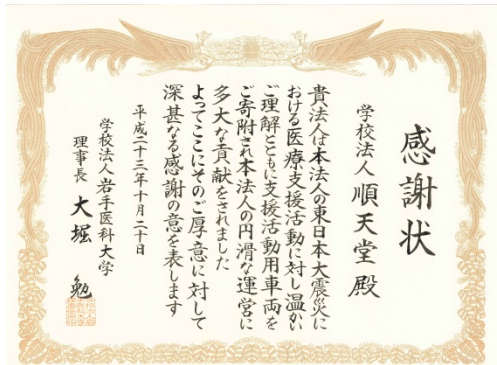
平成23年3月11日震災直後より、被災地に医療支援隊の派遣、患者の治療、搬送等、本学の附属6病院全体で積極的に対応しております。東北・東日本を支えるべく、特に難病、重症、手術、高度専門医療を要する方々については診療・入院を受け入れ、また後方支援を積極的に行っております。医師・看護師などの各被災地域への派遣、医薬品・医療材料等の被災地への支援も力一杯続けていきます。

下記の2大学を中心に岩手、宮城、福島、茨城の各地域に救援隊を送っています。  
計：49隊、延108名（平成24年3月末日現在）



## 【法人】

本法人は東日本大震災の支援の一環として学内で募集した義援金募金の一部を用い、岩手医科大学に支援活動用車両2台を寄付致しました。車両は小川理事長と新井医学部長・医学研究科長が届け、同大学からこれまでの医療支援活動も含めて感謝状を頂きました。



## 【順天堂医院】

### 心臓血管外科 (4/5～8、12～15、19～22、26～28)

岩手県立遠野病院（遠野市）での診療支援等を行いました。

### 整形外科・スポーツ診療科 (4/13～17)

岩手県大船渡市での日本オリンピック委員会（JOC）と連携した医療支援活動等を行いました。

### 救急科 (5/3～5/7)

東京都医師会及び東京都福祉局と連携し、宮城県気仙沼市（気仙沼高校救護所）における医療救護活動等を行いました。

### 小児科・思春期科 (5/14～5/16)

日本小児科学会と連携し、福島県いわき市総合共立病院における医療救護活動などを行いました。

### 脳神経内科、糖尿病・内分泌内科 (5/28～7/30)

文部科学省・日本私立医科大学協会と連携し、国公立リレー方式（本学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学・浜松医科大学・聖隷浜松病院）による医療支援を行いました。

【第1班】 5/28～6/ 1 磐城共立病院

【第2班】 6/ 5～6/10 公立相馬総合病院

【第3班】 6/12～6/16 磐城共立病院

【第4班】 6/27～7/ 1 磐城共立病院

【第5班】 7/13～7/16 磐城共立病院

【第6班】 7/28～7/30 磐城共立病院

**呼吸器内科 (6/5～7/2)**

岩手県からの要請により、岩手県立大船渡病院で緊急対応を含む呼吸器疾患の診療（外来、病棟）、肺炎加療、慢性閉塞性肺疾患（COPD）急性増悪の呼吸管理、肺がん加療等の診療を行いました。

【第1班】 6/ 5～6/11

【第3班】 6/19～6/25

【第2班】 6/12～6/18

【第4班】 6/26～7/ 2

**脳神経外科 (11/14～18)**

日本私立医科大学協会と連携し、南相馬市立総合病院で脳神経外科の医療支援を行いました。

**整形外科 (2/27～3/16)**

全国医学部長会議事務局と連携し、北茨城市立総合病院において外来業務、当直などを行いました。支援に当たっては順天堂医院の整形外科を中心に、浦安病院や順天堂練馬病院等の整形外科と合同で対応しました。

【第1班】 2/27～29

【第4班】 3/7～9

【第2班】 2/29～3/2

【第5班】 3/12～14

【第3班】 3/5～7

【第6班】 3/14～16

**循環器内科 (3/4～10)**

日本循環器学会と連携し、岩手県立大船渡病院で循環器科外来にて循環器内科及び一般内科の医療支援を行いました。

**【静岡病院】****放射線室 (5/19～5/23)**

福島県警察本部・日本放射線技師会と連携し南相馬市にて遺体検案に先立つ放射線物質による汚染確認・放射線測定管理等の支援活動を行いました。

**循環器科・消化器内科 (5/20～5/24)**

静岡県と連携し岩手県宮古市の赤前小学校を拠点に診療及び健康管理支援等を行いました。

**【浦安病院】****脳神経外科 (12/5～10)**

日本私立医科大学協会と連携し、南相馬市立総合病院で、病棟業務、外来業務、手術支援の他オンコール対応等の医療支援を行いました。

**【順天堂練馬病院】****神経精神科支援派遣 (4/5～9)**

岩手医科大学附属病院（盛岡市）、特に神経精神科支援として、岩手県内の被災者診療支援活動を行いました。

**医療救護班派遣 (5/7～5/12)**

東京都医師会及び東京都福祉局と連携し、宮城県気仙沼市（気仙沼高校救護所・市民健

康管理センターすこやか)における医療救護活動等を行いました。

**小児科 (9/11～9/18)**

日本小児科学会と連携し、岩手県立大船渡病院小児科・岩手県立高田病院小児科・岩手県立山田病院にて診療・予防医療等の医療支援を行いました。

**麻酔科・ペインクリニック (11/14～18、11/28～12/2)**

日本私立医科大学協会と連携し、南相馬市立総合病院で手術における麻酔管理等の医療支援を行いました。

**脳神経外科 (1/16～20)**

全国医学部長会議事務局と連携し、南相馬市立総合病院において病棟管理・手術・オンコール対応などの医療支援を行いました。

**【その他 (順天堂医院)】**

**総合診療科 (3/11～12) ※平成 23 年**

新幹線白河市内のトンネル (新幹線車内) 及び同市内の避難所において医療救護活動を行いました。

本学医師が、やまびこ 63 号で移動中 J R 新白河駅近郊 3 k m 地点のトンネル内にて東日本大震災で被災し、同じく乗り合わせていた医師 1 名及び看護師 3 名の計 5 名で救護班を組織し、2 班に分かれて救出まで新幹線内を定期的に巡回し相談や医療支援を行いました。

※ 平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日迄の間に活動を開始した事例を掲載しました。

その後も順天堂大学医学部附属 6 病院である順天堂医院、静岡病院、浦安病院、順天堂東京江東高齢者医療センター、順天堂越谷病院及び順天堂練馬病院では、引き続き東日本各地、特に福島県、岩手県を中心に全国国公立大学 80 校中トップクラスの医師、看護師及び技師等の派遣による医療支援・救援活動を継続しています。(詳細はホームページを参照下さい。)

## 20. 平成 23 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお、金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

### (1) 資金収支計算

#### (収入の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	6,663	6,669	△ 6
手 数 料 収 入	375	425	△ 50
寄 付 金 収 入	1,415	1,970	△ 555
補 助 金 収 入	5,404	6,581	△ 1,177
資 産 運 用 収 入	496	572	△ 76
資 産 売 却 収 入	26	32	△ 6
事 業 収 入	2,085	2,330	△ 245
医 療 収 入	114,145	117,129	△ 2,984
雑 収 入	958	1,404	△ 446
借 入 金 等 収 入	500	440	60
前 受 金 収 入	1,604	1,555	49
そ の 他 の 収 入	19,047	18,838	△ 209
資 金 調 整 勘 定	△ 20,191	△ 21,729	1,538
当年度資金収入合計	132,524	136,216	△ 3,692
前年度繰越支払資金	39,452	39,452	
収 入 の 部 合 計	171,976	175,668	△ 3,692

資金収入は、補正後予算（以下予算という）と比較し、約 37 億円上回りました。主な要因としては、附属病院の医療収入全体で予算を約 30 億円上回ったこと、補助金収入が約 12 億円上回ったことによります。

#### (支出の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	48,480	48,365	115
教育研究経費支出	17,723	17,294	429
医 療 経 費 支 出	41,135	42,221	△ 1,086
管 理 経 費 支 出	4,350	3,907	443
借入金等利息支出	40	32	8
借入金等返済支出	791	791	0
施 設 関 係 支 出	9,591	8,968	623
設 備 関 係 支 出	4,637	3,722	915
資 産 運 用 支 出	5,104	15,816	△ 10,712
そ の 他 の 支 出	8,067	7,642	425
予 備 費	1,837	0	1,837
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 7,779	△ 8,453	674
当年度資金支出合計	133,973	140,304	△6,331
次年度繰越支払資金	38,003	35,364	2,639
支 出 の 部 合 計	171,976	175,668	△ 3,692

資金支出は予算と比較し約 63 億円上回りました。主な要因としては、期末に現預金の一部を主に短期の有価証券等に振替えたことによります。

資金収入が予算と比較し約 37 億円上回りましたが、資金支出も約 63 億円上回ったことから、当年度資金収支差額は差引約 26 億円予算を下回りました。これにより次年度繰越支払資金は約 354 億円となりました。

当年度資金収支差額	△1,449	△4,088	2,639
-----------	--------	--------	-------

## (2) 消費収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	H23 年度決算	H22 年度決算	差 異
学生納付金	6,669	6,491	178
手数料	425	433	△8
寄付金	2,115	1,755	360
補助金	6,581	5,703	878
資産運用収入	572	500	72
事業収入	2,330	2,070	260
医療収入	117,129	113,085	4,044
雑収入	1,582	1,164	418
その他	3	0	3
帰属収入合計	137,406	131,201	6,205
基本金組入額合計	△ 9,818	△ 5,190	△4,628
消費収入の部合計	127,588	126,011	1,577

帰属収入は約 1,374 億円となり前年度と比較し約 62 億円増加しました。学生納付金は保健看護学部 of 学年進行に伴う在籍者数増加により約 2 億円増加しました。補助金の増加は主に経常費補助金の増加によるものです。医療収入は附属病院の診療体制を充実させたこと等により約 40 億円増加しました。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	H23 年度決算	H22 年度決算	差 異
人 件 費	48,669	48,192	477
(退職給与引当金繰入額)	(2,123)	(2,293)	△170
教育研究経費	23,538	23,116	422
(減価償却額)	(6,399)	(6,349)	50
医療経費	42,305	40,240	2,065
管理経費	4,178	4,076	102
(減価償却額)	(293)	(219)	74
借入金等利息	32	29	3
資産処分差額	141	30	111
徴収不能額等	129	128	1
消費支出の部	118,992	115,811	3,181

消費支出は約 1,190 億円となり、前年度と比較し約 32 億円増加しました。これは教育・研究・診療体制の更なる充実を図ったため、人件費、教育研究経費、医療経費等が増加したことなどによるものです。

帰属収支差額	18,414	15,390	3,024
当年度消費収入超過額	8,596	10,200	△1,604
前年度繰越消費支出超過額	63,388	73,587	
翌年度繰越消費支出超過額	54,791	63,388	

帰属収支差額は約 184 億円となりましたが、再編事業が本格化したことから基本金組入額が増加し消費収支差額は前年度と比較し約 16 億円のマイナスとなりました。

### (3) 貸借対照表

#### (資産の部)

(単位：百万円)

科 目	H23 年度末	H22 年度末	増 減
<b>固 定 資 産</b>	135,501	120,812	14,689
有形固定資産	111,306	105,387	5,919
土 地	37,685	34,662	3,023
建 物	49,839	49,782	57
その他の有形固定資産	23,782	20,943	2,839
その他の固定資産	24,195	15,425	8,770
<b>流 動 資 産</b>	68,121	63,996	4,125
現 金 預 金	35,364	39,452	△4,088
その他の流動資産	32,757	24,544	8,213
<b>資 産 の 部 合 計</b>	203,623	184,808	18,815

固定資産は、キャンパス及び病院附属施設を拡充するため、本郷地区で不動産及び不動産信託受益権を取得したことにより増加しています。

固定資産の取得及び短期有価証券への振替により流動資産のうち現金は減少しております。総資産は 188 億円増加して、2,036 億円となりました。

#### (負債の部)

(単位：百万円)

科 目	H23 年度末	H22 年度末	増 減
<b>固 定 負 債</b>	27,242	26,683	559
長期借入金	1,217	1,143	74
学 校 債	5,075	5,055	20
その他の固定負債	20,950	20,485	465
<b>流 動 負 債</b>	11,621	11,778	△157
短期借入金	226	271	△45
短期学校債	120	520	△400
その他の流動負債	11,275	10,987	288
<b>負 債 の 部 合 計</b>	38,863	38,462	401

負債は、389 億円と前年度対比で約 4 億円の増加となりました。

不動産等の取得を自己資金で行うことができたため、資産が 188 億円増加しましたが、負債の増加は微増にとどめることができました。

#### (基本金の部)

(単位：百万円)

科 目	H23 年度末	H22 年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	208,492	198,771	9,721
第 2 号 基 本 金	1,660	1,850	△190
第 3 号 基 本 金	500	500	0
第 4 号 基 本 金	8,899	8,613	286
<b>基 本 金 の 部 合 計</b>	219,551	209,734	9,817

#### (消費収支差額の部)

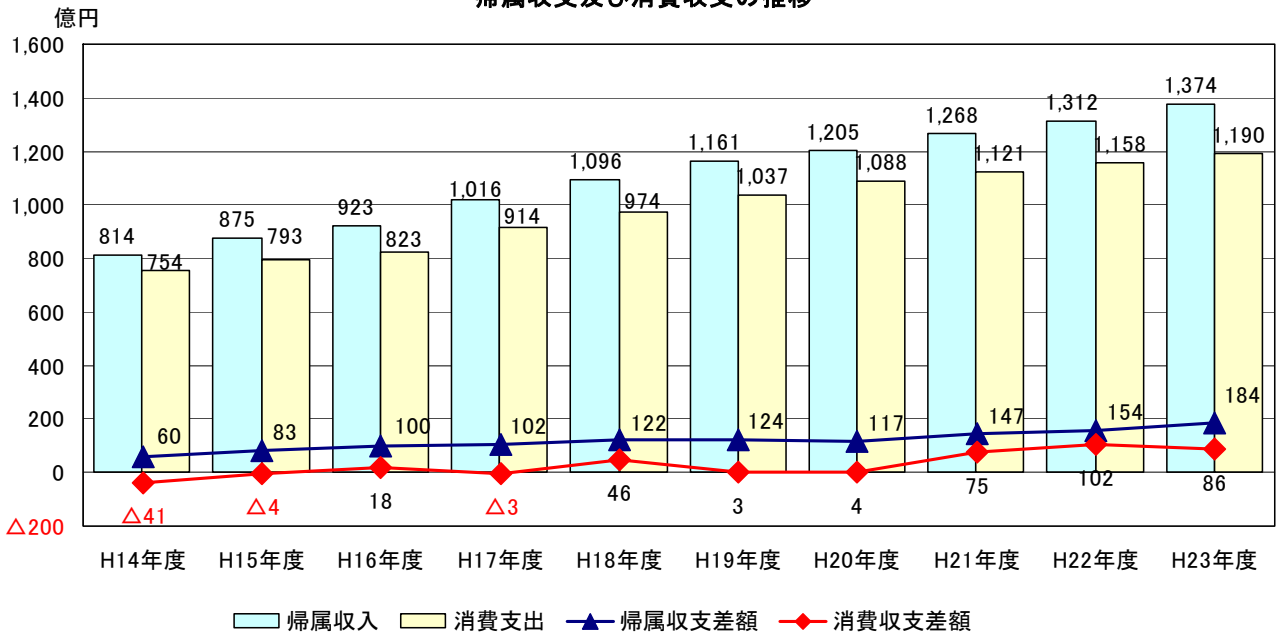
(単位：百万円)

科 目	H23 年度末	H22 年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	54,791	63,388	△8,597
消費収支差額の部合計	△54,791	△63,388	8,597
負債の部合計、基本金の部及び消費収支差額の部合計	203,623	184,808	18,815

消費収入超過額は約 86 億円であったため、翌年度繰越消費支出超過額は約 548 億円となりました。

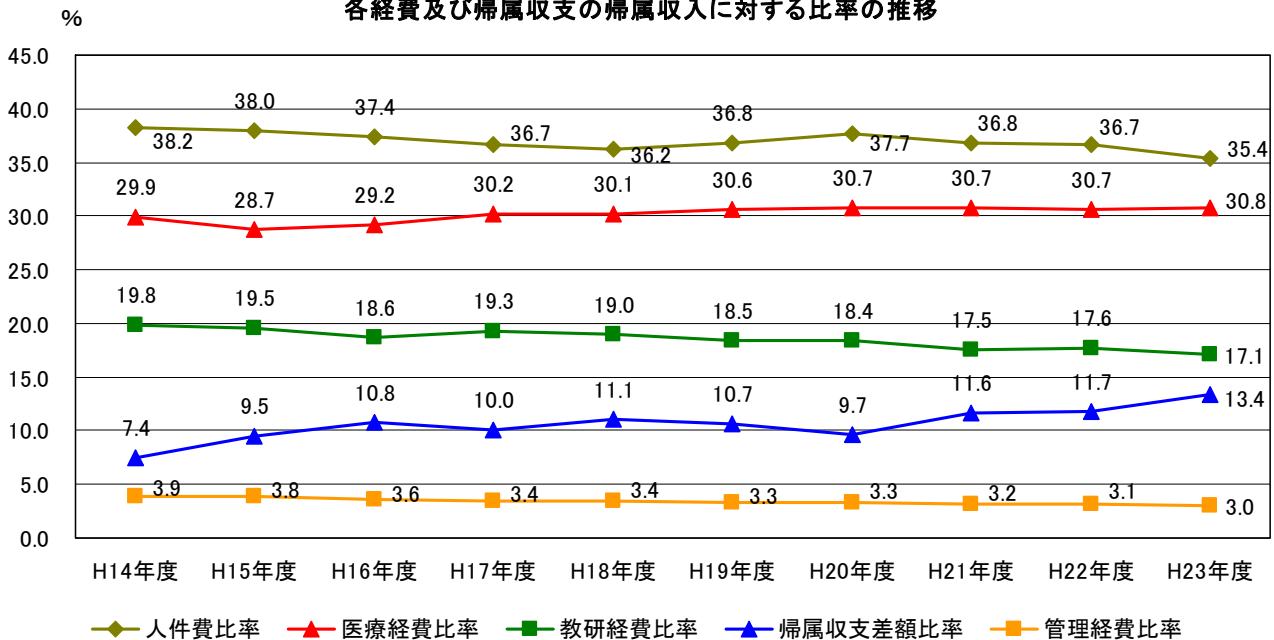
21. 財務状況の推移

帰属収支及び消費収支の推移



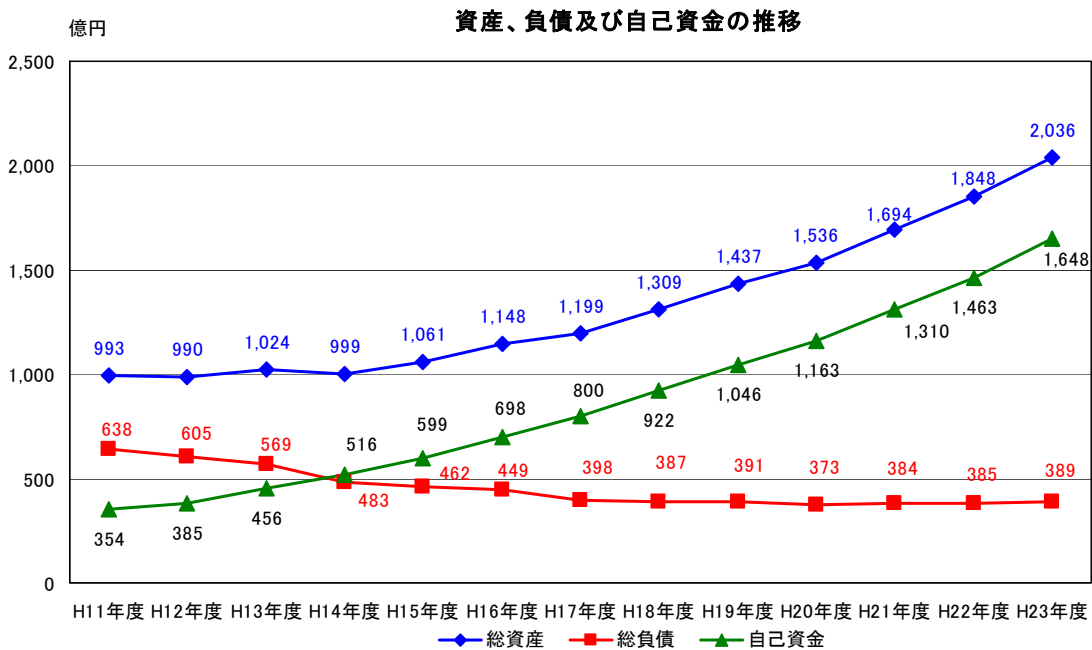
教育・研究・診療の充実を図るため、平成14年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院（平成16年度より自主運営開始）、平成17年度 練馬病院開院（平成18年度よりフル稼働）、平成18年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、平成19年度はスポーツロジックセンター設立、浦安病院救急救命センター設置及び練馬病院3号館建設、平成22年度は静岡県三島市に保健看護学部を開設いたしました。収入・支出の規模が毎年拡大しておりますが、帰属収支差額は各種プロジェクトの推進及び外部資金の導入等の効果により収支バランスを崩すことなく推移しております。

各経費及び帰属収支の帰属収入に対する比率の推移



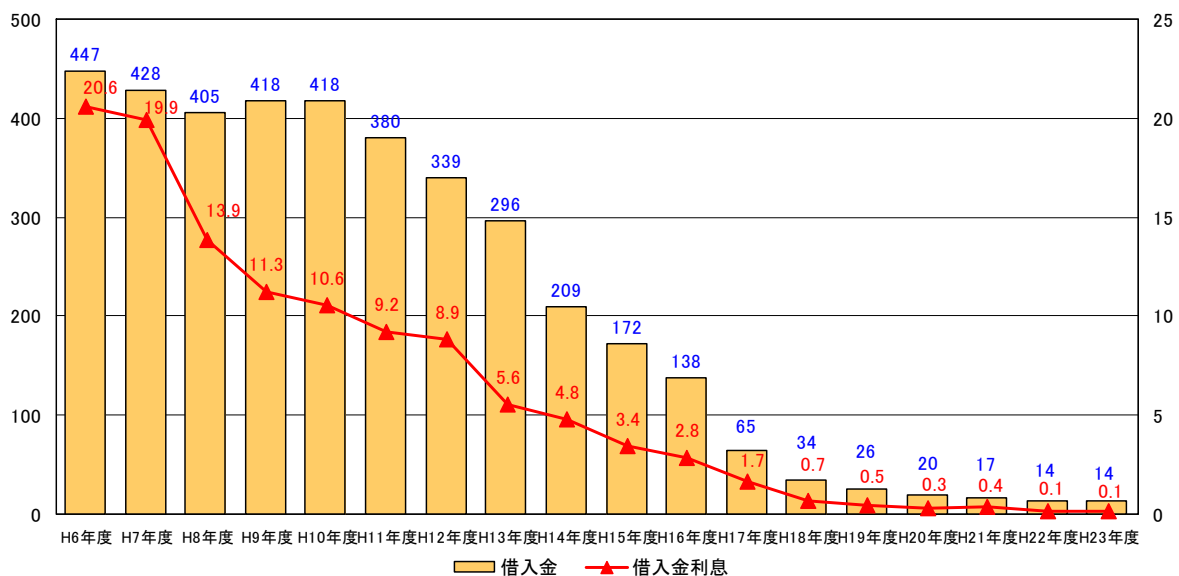
教育・研究・診療の充実に伴い各経費及び人件費は毎年増加していますが、経費の効率化、外部資金の導入などの効果により収入の増加見合いに収めることができたため、各経費比率（経費の効率化の尺度を表し、各経費/帰属収入により算出する）とも安定して推移しています。





上記のグラフは資産、負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで負債が自己資金を上回っていました。ここ数年は堅調な帰属収支差額を維持し、施設・設備の拡充は自己資金により行ってきました。また、有利子負債の返済を前倒して行ってきたため、総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成23年度には19.1%と、大幅に改善しています。

**金融機関等借入金及び同借入金利息の推移**



総負債比率改善のため有利子負債の返済を積極的に進めてきました。平成23年度末の金融機関等からの借入残高は約14億円、学校債を合わせた借入総額は約66億円となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な経営を維持しております。

## 22. 創立 175 周年記念事業について

大学創立 175 周年(2013 年)の記念事業として、全学的に取り組んでいます「大学キャンパス・ホスピタル再編事業」は 4 年を経過し順調に進捗しています。

本事業について、本郷キャンパスでは今年度は、旧 5 号館跡地に建設する新病棟(仮称 B 棟)の工事に着手するとともに、3 号館跡地の新築計画及び 4 号館地区の増築計画に着手しました。

B 棟につきましては、必要な外科系病棟を集約、救急プライマリーケアセンターを充実、手術部門・集中治療部門・放射線を拡充など、高度医療機能を持つ病院棟として平成 28 年 3 月までに整備する予定です。新病院棟は、堅牢でスタビリティの高い 100 年建築を実現させ、世界に誇れる時代をリードしたエコホスピタルの完成を目指しています。また、来院する患者さんや働くスタッフがたおやかな気持ちになり癒され、お互いを思いやりながら仕事ができる空間づくりと、豊かな緑に囲まれた地球環境に優しいエコキャンパスを作ることをコンセプトにしています。



センチュリータワー



竣工後、本郷キャンパス全景(完成予想図)



1 階エントランス



南側入口



2 階ロビー



屋上庭園



8 階 大教室



7 階ラーニングcommons



5 階ラーニングcommons

また今年度は、平成 21 年に購入したセンチュリータワーを拠点に、順天堂が海外へ向けて教育・研究・医療の情報発信が行えるように最新の AV・ICT システムを備えた教学部門の教室の整備を行いました。





**Juntendo , Tokyo , established in 1838 .**